



理事長

富田 勝

ごあいさつ

平素は、中日信用金庫をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

皆さまに、当金庫をより一層ご理解いただきたく、2024年版ディスクロージャー誌「2024中日信用金庫の現況」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

2023年度の国内経済は、コロナで制限を受けていた社会・経済活動等の正常化が進み、長い足踏み状態から持ち直しに転じました。それに伴って中長期金利は上昇基調で推移する一方、日経平均株価は高値圏で推移するなど国内企業のトップライン拡大等に対する期待感が高まりました。海外に目を向けると、ウクライナ・中東情勢など地政学的リスクは引続き高い状況にあり、それに伴う物価上昇やサプライチェーンの混乱は中小企業の経営に大きな影響を与えました。また、当金庫の営業地区に目を向けると、2027年以降のリニアの開業や2026年のアジア競技大会の愛知・名古屋開催に向けて、インフラ整備等が進みつつある状況にあります。

このような中、当金庫は、2022年9月に東海財務局から受けた業務改善命令を厳粛に受け止め、『新生・中日信用金庫』として新たに出発し、様々な変革に取り組みました。

地域の中小企業・小規模事業者及び個人のお客さまへの安定した資金供給は「最も重要な社会的使命」であるとの認識のもと、地域における金融円滑化の担い手として、金融仲介機能の発揮に取り組みました。法人や個人事業主のお客さまに対しては、ちゅうしんビジネスセンター等を通じて、経営課題等を共有し、課題解決に向けた提案と継続的な支援に取り組みました。個人のお客さまに対しては、生活福祉向上に資する取組みに努めるとともに、課題等をお持ちのお客さまに対しては、その内容を十分に把握したうえで、解決に向けた取組みを推進いたしました。

今年1月、企業としての存在意義を改めて見つめ直す必要性を感じ、パーパス『想いをつなぐ 共につくる未来 ～ Connect the Mind Create the Future～』を制定いたしました。このパーパスには、「私たちは、地域に生きる金融機関として、地域の皆さまの想いをお預かりし、その想いを大切にしながら、夢や希望に向かって挑戦する人の想いを応援したい。そして、皆さまの想いをつなぎ、共に地域の未来をつくっていきたい。」という想いを込め作成いたしました。

迎えました2024年度は、人件費高騰に伴う物価の上昇、給与のベースアップ、11月の米大統領選、自己資本比率規制の強化など、環境変化への対応が求められます。また、それ以外にも、様々な社会情勢の変化が進むものと思われます。

このような中、当金庫は、パーパスに関連する「誠実・真摯な人と組織」「働きやすい職場づくり」「多彩な人財の創出」「変化に挑み拓く」「地域未来を明るくする」「温もりのある金融パートナー」という6つの重要テーマに基づき、金庫の変革に取り組むとともに、経営基盤を確立し、お客さまの成長と地域の発展に貢献してまいります。

今後とも、格段のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

2024年7月